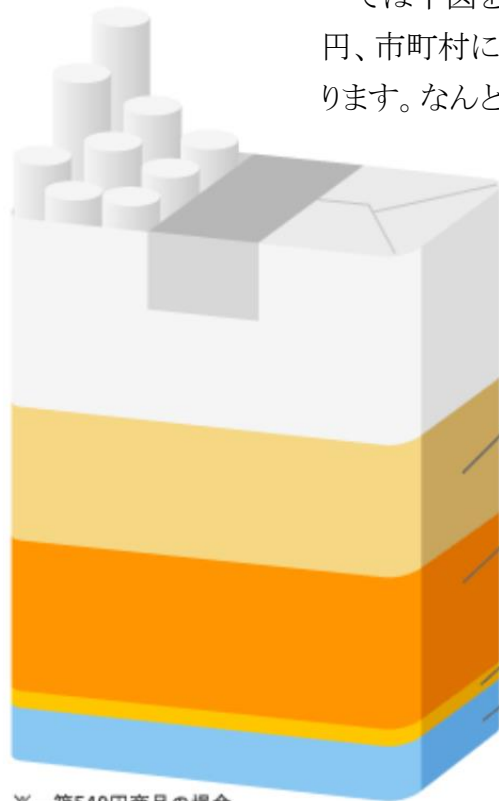


週刊 タバコの正体

日本では、タバコの税金が国や自治体の会計予算に組込まれている事をすでに紹介しましたね。その金額はどのくらいになるのか興味が湧きませんか。

では下図を見てください。540円のタバコを買うと国に126円、都道府県に20円、市町村に122円が納められ、消費税も含めると税金の合計は334円にもなります。なんとタバコの値段のうち61.8%も税金なのです。



※一箱540円商品の場合

JT「たばこ税のしくみ」サイトから

- <内訳>
- 国たばこ税：126.04円 (23.3%)
 - 地方たばこ税：142.44円(26.4%)
都道府県たばこ税：20円(3.7%)
区市町村たばこ税：122.44円(22.7%)
 - たばこ特別税：16.4円(3.0%)
 - 消費税：49.09円(9.1%)

たばこの税負担合計
333.97円/箱
(61.8%)

日本たばこ協会の発表では令和元年度の販売代金は2兆8千万円だったそうです。一箱あたりでは国や自治体に納められる金額は100円ちょっとですが、そんなに売られているとなると、その税金は相当な金額になります。

そこで、身近な例を見てみましょう。

左の写真は、とある和歌山市内のタバコの自販機ですが、「和歌山市には、たばこ税が29億395万円納められ、暮らしに大きく役立っております」というステッカーが貼られていました。つまり和歌山市内で販売されたタバコの税金がこんなにあるのです。

さらに、「地元の貴重な財源です」「地元でたばこを買おう」との文字も見えます。

タバコは人々の健康を害するのに、暮らしに役立つなんて、おかしい気がしますよね。

産業デザイン科 奥田 恭久



地元の貴重な財源です
たばこを買おう
和歌山市には、たばこ税が
29億395万円納められ、
暮らしに大きく役立っております。
お買い上げいただきありがとうございます